

調布駅前ひろば検討会で出された意見について

区分	主なご意見	市の考え
第1回	・この会議はどのような性格の会議なのか。【鈴木委員】	・第1回の趣旨説明内で説明しました。
第1回	・オープンハウスの結果を検討会に提示してほしい。【鈴木委員】	・別途報告します。
第1回	・市民アンケートの内容を検討会に提示してほしい。【鈴木委員】	
第2回	・広場に対する期待を皆さんからぜひ伺いたい。【鈴木委員】	
第1回	・デザインコンセプトを明確に、調布らしさを感じられる整備をしてほしい。【長田委員】	・第2回検討会で各委員が発言しました。 ・別途意見も把握します。
第2回	・多面的な影響を評価、議論し検討を進めるべき。【奥委員】	・平成10年度以降、市民参加も含め検討してきたコンセプトを基本として最終案を検討していきます。
第2回	・環境に関わる要素、安全だとか憩いの場の創出だとか、ふれあいの場の創出という要素も含めた調査をした方が良い。【奥委員】	
第2回	・子どもが遊ぶ公園を駅前広場に配置するのは、子どものことを考えると望ましくない。【松澤委員】	
第2回	・50年、100年先の事も考え、計画・検討すべき。【富澤委員】	・現状出来得る調査を実施していきます。
第2回	・駅前広場に滞留機能（広場機能）をどこまで取れるのか、交通機能については鉄道利用者だけでなく駅周辺を楽しみに来る人もいる。何かが必要で、何か最後折り合いなのかということ、代替できるものは駅前広場に置かない。【大沢委員】	・ご意見を参考に今後検討していきます。
第2回	・人の動線確保、公園整備など、駅前広場の環境空間に必要な面積を決めた上で、ロータリーの内容を検討すべき。【鈴木委員】	・周辺の整備計画も踏まえ、将来を見据えて検討します。
第2回	・20年後を考えた時に、駅前広場をつくるだけでなく、育てる（管理・運営する）方法も議論すべき。【大沢委員】	・駅前広場に求められる「環境機能」と「交通機能」をバランスよく検討した計画とします。
第1回	・マンホールトイレは何基設置するのか。【三宅委員】	・大事な視点であり、今後の方向性の中で検討していきます。
第1回	・現状のフラット（高低差がない）な広場が高齢者にとっても使いやすい。【高山委員】	・多目的広場3の付近に20基設置の予定です。
第1回	・駅前の電柱を埋設してほしい。【高山委員】	・ユニバーサルデザインの視点で整備を行っています。
第1回	・最終的には緑と子どもが集まる駅前広場にしたい。【鈴木委員】	・駅前広場内は無電柱化を実施します。 (新しく整備する都市計画道路は無電柱化します。)
第1回	・集客の視点も非常に大事。子どもがこの駅前広場に行ってみたくと思うものを充実させることも必要。【向井委員】	・ご意見を参考に今後検討していきます。
第2回	・イベントを企画する中で広場はどうあるべきか、今までの取組を教えてください。【向井委員】	・産業振興担当と連携をして、周辺商店会などとイベント空間の在り方について、今後検討していく予定です。
第2回	・調布はすごく魅力的なまちなので、情報を発信する手段として、デジタルサイネージが必要。緑のまちで、なおかつ国分寺崖線があって湧水が豊富に出ている。そういったことを体感できるようなものを情報発信の手段として使うことができないか。【向井委員】	・産業振興担当と連携をして、周辺商店会などとイベント空間の在り方について、今後検討していく予定です。
第2回	・樹木に関して、照明もセットではないかと思う。これから冬になると、商業ビルの明かりが見えるが、足元はほとんど見えない。【高山委員】	・情報発信機能を検討する中で魅力発信についても検討していきます。
第1回	・樹木は強風による倒木や広場内の見通しを考慮した樹種の選定及び配置を検討すべき。【高山委員】	・詳細設計を行う中で、照明計画についても検討します。
第2回	・イベント活用のため、樹木を整然と並べる事はやめてほしい。また、既存樹木を残すことを検討して欲しい。【荒井委員】	・既存樹木との調和も踏まえて、全体バランスを考えながら樹木配置を検討します。
第2回	・樹木に関しては、トータルバランスを取ってほしい。【高山委員】	
第1回	・ロータリーの真ん中に樹木の1本や2本植えるという案もあると思う。【秋山委員】	
第2回	・調布の顔として、ロータリーの中央部に樹木を森のように配置することも検討して欲しい。【富澤委員】	・交通島の樹木配置については、積極的に検討します。
第1回	・駅に向かう歩行者の迂回が最小限になるようにしたい。【鈴木委員】	
第2回	・バス便数と、人がバスを待って列を成す列の長さは運動しないことを知っておいてほしい。人の流れも考えて、バス停の配置も考えて欲しい。【高木委員】	・ユニバーサルデザインの視点で、歩行空間については、調査も踏まえ検討します。
第2回	・駅前がフラットであると同時に、行ってみたいとか集まってみたい、安心して歩けるスペースがあった方がいいと思う。【高山委員】	
第1回	・駅前広場の工事中でも安全に歩ける歩行空間を確保してほしい（段差、水たまり）。【高木委員】	・ユニバーサルデザインの視点で整備を行っています。
第1回	・観光バスやシャトルバスをロータリーの中で一括処理できるような配置にしてほしい。【松澤委員】	
第1回	・ロータリーの面積を小さくして、タコ公園的な場所をつかってはどうか。【鈴木委員】	
第1回	・ロータリーの面積を縮小する方法はないか。バスの小型化を考慮、長距離バスをロータリー外に出すなど。【荒井委員】	
第2回	・身障者用や一般車の乗降場の位置について、タクシーやバスとの干渉や人の流れも踏まえて検討して欲しい。【高木委員】	・ご意見を参考に今後検討していきます。
第2回	・調布の良さを発信して、いろいろなところに行ってもらえるようなかたちのロータリーを考えてほしい。【松沢委員】	
第2回	・ロータリー中央部の、バスやタクシーの待機場は、縮小できるのではあるか。【富澤委員】	
第2回	・バリアフリーの観点から、バスがきちんと正着できないのはまずい。【大沢委員】	
第1回	・放置自転車に対する対策が必要。【高山委員】	・放置自転車対策は、駅周辺を踏まえて検討します。
第2回	・歩道の駐輪や放置自転車の対策も検討すべき。【高山委員】	
第1回	・広場内の自転車の通行は制限すべき。【高山委員】	・ひろば空間を通行する歩行者の安全性の確保、イベント開催などとのバランスを踏まえた自転車走行を検討します。
第2回	・駅前広場で縦横無尽に通行している自転車の通行は危険である対策を考えるべき。【高山委員】	
第2回	・駐輪場に関しては、民間施設側での整備、努力も必要である。【鈴木委員】	・駐輪場計画は駅周辺での検討をしています。
第2回	・駅前広場で考えるのではなく、少し違う場所で、公園自体のあり方についてもう1回検討していただいて、子どものために広い公園を作っていただきたい。【松沢委員】	・公園・緑地機能再編整備プランの中で地域別の配置の考え方も整理していきます。